



山口大学おもしろプロジェクト2024 4月



「おもしろプロジェクト2023」活動終了しました

一年間の活動を無事に終了することができました。
学生たちの活動を見守ってくださった皆様に感謝申し上げます。

支援教員を引き受けてくださった先生方、選考に関わってくださった教職員の皆様、学生の活動にご協力くださった地域の皆様に心より御礼申し上げます。

学生達の1年間の活動の様子を皆様にお届けできるよう、最終報告書・最終報告プレゼン・最終報告ポスターを公表する準備をすすめております。どうぞ楽しみにお待ちください。



「おもしろプロジェクト2024」募集要項をアップしました

山口大学の特色ある教育プログラムのひとつである「おもしろプロジェクト」の募集が始まりました。毎年「おもしろプロジェクトをやりたいくて山口大学に入学しました」という声も聞かれます。

【通常プロジェクト】(最高支援額50万円)

- ・自由な発想に基づくプロジェクト
- ・プロジェクト課題に対して、深く追求や探究するもの

【Light】(最高支援額10万円)

- ・自由な発想に基づくプロジェクト
- ・プロジェクト課題に対して、

まずはアプローチしてみる萌芽的なもの

提出期限 2024年4月26日(金) 13:00



おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています



山口大学おもしろプロジェクト2024 5月



「おもしろプロジェクト2024」募集しめきりました

4月26日(金)13時、「おもしろプロジェクト2024」の募集をしめきりました。

【通常プロジェクト】(最高支援額50万円)

5月中旬 書類選考委員会による第一次選考

5月中旬～下旬 選考委員会による第二次選考(質疑応答)

【Light】(最高支援額10万円)

5月中旬 書類選考委員会による選考

今年度も多様なプロジェクトが集まりました。5月中に採択プロジェクトを決定する予定です。

ただいま
選考中！



自主活動ルームで展示しています

現在、自主活動ルームでは「おもしろプロジェクト2023」で制作したものを展示しています。学生たちの活動の成果を手にとってご覧ください。



小野茶石けん、ビワの葉チンキ、小野茶石けんと報告書を村岡県知事にお渡しした様子(写真左から)
山口県産農産品からつくる新医薬品-山口から世界へ～医学部ダンパ・フットボーラーズ～
(おもしろプロジェクト2023採択)



完成した「草図鑑」



「自分達が撮った写真を載せました」

「草図鑑」

ヤギによる大学構内の除草を目指す「ヤギ草プロジェクト」は、大学構内の草本調査を行いその写真をまとめました。ヤギによる除草が実現するのが楽しみです。

ヤギ草プロジェクト

～草をたくさん調べ隊～
(おもしろプロジェクト2023採択)

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



山口大学おもしろプロジェクト2024 6月



1996年第1回「山口大学おもしろプロジェクト」

今年度第28回目の実施となる「おもしろプロジェクト」の第1回目（1996年度実施）にはどんなプロジェクトが採択されていたのでしょうか。記録によると、35件の申請で10プロジェクトが採択され、各プロジェクトに60万円の支援があったそうです。半額の300万円が廣中学長（当時）からの寄付であったと当時の新聞に掲載されています。

「復元『石州街道』」

…旧道沿いに点在する歴史・文化をグローバルにとらえ、その時代を復元する試み

「春の小川ルネッサンス～めだかの学校～」 …平川地域にメダカが泳ぐ小川を復活させよう

「Goods, Radio計画」 …山口大学吉田キャンパスにラジオ局を開設したい

「ボランティア活動について考える'96冬」

…ボランティア活動をキーワードに留学生とパネルディスカッション

「めざせソーラーカーラリー97」 …オリジナルソーラーカー製作

「ホスピス 国際保健研修旅行」 …アメリカのホスピスを訪問し実態を知る

「琉球の言語学」 …沖縄方言の語彙を日常と民謡の両面から調査する

「山口大学留学生現状調査」 …卒業した留学生の現状を調査し、冊子の形で出版したい

「山口大学環境整備マスタープランの作成」

…総合的に大学環境を整備するためのマスタープランを製作する

「山口大学ホームページ」

…インターネット (World Wide Web) における山口大学のホームページの作成と更新

その当時の雰囲気を感じさせる表現もありますが、今も変わらず学生さんの発想のもととなる課題感も見られ、たいへん興味深いです。過去の報告書を自主活動ルームで手に取ってみませんか。



←写真左「おもしろプロジェクト10年史」(上・下巻)

おもしろプロジェクト開始からの10年間は、大学改革、法人化という大きな変化の10年でもありました。学生への支援を続けてきた貴重な資料です。

「めだかの学校」の学生が廣中先生へインタビュー（2014年）



2014年、「めだかの学校」の軌跡をまとめた「山口大学めだかの学校」を発行するにあたり、廣中先生が学生のインタビューに応じてくださいました。

第1回「おもしろプロジェクト」の様子について「驚きましたよ。学生が何か興味をもってやりだすと意外とびっくりするほど必死にやるもんだなと。勉強しろといっても勉強しないのに（笑）」

（「山口大学 めだかの学校」 2014年より）

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



山口大学おもしろプロジェクト2024 7月



～9プロジェクトが活動を開始しました～

ヤギ草プロジェクト -second season- (ヤギ除草隊-YJST-)

ヤギによる大学構内の除草を実施する。昨年度、農学部附属農場内2カ所、農獣棟中庭、東門付近の草地、アーチェリー場付近の草本調査を実施し、生えている毒草は限られていたため、ヤギによる除草は可能と判断した。今年度は、実際にヤギを草の生えている場所に連れていき、ヤギ除草を本格的に開始する。大学構内の除草をヤギ除草で行うことで環境にやさしい山口大学を目指す

山口大学内の野良猫0プロジェクト ～山大にゃんこ大作戦フェーズ2～ (山大にゃんこ大作戦)

昨年度より開始した学内の野良猫管理体制の拡大を図る。それにより、大学内の野良猫をこれ以上増やさず、今いる30頭を最後の世代とし、5年を目途に学内の野良猫ゼロを目指す。また、現在吉田キャンパス内で見られる野良猫に関するトラブルを解消し、大学利用者にとってより良い学内環境を整備する。さらに、学内外に向け発信する機会を通し、人々の野良猫への関わり方に対するリテラシー向上を図る。

【Light】未来の農業プロジェクト (ひこぼしプロジェクト)

プランターで、生育状況や生育環境の様子をモニタリングするスマート農業(ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業)を行う。帰省中や合宿中など離れていても代行して水やり等を行うような、学生生活と並行して農業に親しむことができるシステムを作る。農業に関わったことのない学生でもスマート農業によって農業を行うことができるかどうか検証する。

【Light】おたすけYU (YOUおたすけ隊)

「山口大学の留学生」のための情報をまとめたパンフレットを作成し、留学生に配布する。パンフレットは、来日直後(9、4月)の留学生を空港から大学まで送迎するバスで配布するもの2刊分と、夏、秋、冬、に配付するものの合計5刊分作成する。前者には、生活必需品を揃えるのに必要な山口大学周辺の店舗情報や、山口の歴史を中心にまとめる。後者には、季節ごとの日本文化、留学生からの質問に答えるコーナー、旅行プランの紹介、おすすめ料理の作り方を「やさしい日本語」とイラストを用いてまとめる。

【Light】今あるものを長く大切に。(MAISON YMG)

日本の家庭から出る衣類廃棄物は年間75.1万トン(2020年時点)を超える。安価な服は気軽に購入され、気軽に廃棄されている。本プロジェクトの一番の目的は、衣類の購買意識を見直すきっかけ作りである。今年度は、捨てられる服に着目する。捨てられる衣服を回収し、販売という活動を行う。販売できなかった服は業者に買い取ってもらうことで100%の有効活用を目指す。得た収益は、宇部市「ふるさと応援寄付金」を活用し、全額寄付する。その寄付金は子ども医療に関する事業及びプロスポーツ応援事業に活用される。

【Light】防府農地再生プロジェクト (だおらーず)

防府市内の遊休農地問題、小学生地域イベント参加率が全国平均より低い問題を解決するため防府市内にある遊休農地や遊休農地になりそうな土地を借り、地域の小学生を対象とした耕作体験の機会を設ける。小学校の自由科目の一環として小学校とも連携する。また、このプロジェクトに参加した児童が、次年度以降の参加児童に教える機会を設けることで、継続性のあるイベントにすることを目指す。

【Light】農ある私はお野菜を見せびらかす (新長州ファイブ)

- ①新長州ファイブが管理している畑を観光農園とすることで、地域の子供たちへ農業体験の場を提供する事。
- ②収穫物を子ども食堂へ提供すると共に、子ども食堂の運営にも携わる事。
- ③収穫物の一部を道の駅やJAで販売し、その収益で活動をより拡大していく事。
- ④本学の医学科学生団体への試料提供。
- ⑤耕作放棄地を農地として活用する活動を広めていく。

【Light】商店街活性化で地域も明るく (ストリーターズ)

現在の防府市天神町銀座商店街では空き店舗やシャッターが降りている店舗が5割を超えている。出店者を募って土日限定の定期市の開催を計画する。この計画によって賑やかな商店街を地域住民に経験してもらいたい。商店街の雰囲気改善と出店数を増加させることに目的を設定し、商店街において継続的なイベントの実施及び、多くの人が訪れる商店街を目指す。

【Light】地域に根ざしたイルミネーションをしよう! (ブラッシュアップ・ヤマグチ)

本プロジェクトは「山口市がクリスマス発祥の地」であることを山大周辺地域の方々のみならず、より広範囲の地域の方や山口を訪れた観光客の方にも知ってもらうために企画したものである。例年の山口大学吉田キャンパス正門へのイルミネーションに加え、防長バス(株)に協力を依頼し既に12月の山口市を走っている「クリスマスバス」のパワーアップを行う。山大生と山大周辺地域に住む方々だけではなく、より広範囲へのアプローチを行いたいと考えている。

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



農ある私たちはお野菜を見せびらかす～ 新長州ファイブ～

7月、アトランティックジャイアントを収穫することが出来ました。昨年度は病気により収穫することが出来なかった経験から得た知識を基に愛情をもって育てた結果、34kgのかぼちゃになりました。
収穫後は新天町のBEER GURDENへの出荷をしました。34kgのかぼちゃを買う人がいないことは予想がついていたので、かぼちゃを持ち上げて重さを当てることが出来たら野菜を値引きするというゲーム形式にし、野菜は完売しました。自分たちが丹精込めて作った野菜が完売し、かぼちゃを通して老若男女問わず多くの方と関わり楽しめたことは本当に農業をして良かったと感じる瞬間でした。最終的にかぼちゃはコンフリ宇部さんでくり抜いて解体し、切り出した可食部は天ぷらになりました。大きなかぼちゃでしたが以外にも包丁がスッと入り柔らかく、天ぷらはもっちりとした食感でかぼちゃの甘みはあるが青臭さが少ない物でした。ネットには食味に適さないという紹介が多かったのですが美味しかったです。



「かぼちゃ持ちませんか？」

防府農地再生プロジェクト～だおらーず～

8月18日、第1回目のイベントを開催できました。イベントまでの準備として、参加者を募集するためのチラシ作成・配布、イベント開催予定の土地の整備や畝づくり、肥料の散布や畝の調整、マルチシートをかぶせるなどを行いました。今回のイベントでは、ジャガイモを植える計画でしたが、注文していた秋植え種芋が出荷されていないというハプニングがありました。しかし、他の農業に関するプロジェクトを行っている方にアドバイスを頂いたりして、無事に用意することができました。イベント当日には9人の参加があり、ジャガイモの種芋を植えました。種芋を植える幅や種芋の正しい植え方などに一緒に学びながら植えることができ、とても楽しいイベントとなりました。また、防府日報の方も取材に来ていただき、自分たちが行っているイベントの存在をより多くの方に知っていただけた良い機会となりました。9月には、小学生109名と作業する予定のためしっかりと準備を行っていこうと思います。



ジャガイモ植え付けのイベントの様子

今あるものを長く大切に。～MAISON YMGT～

8月は古着回収ボックスの作成、古着回収イベントの場所・日時を決定、チラシの作成に力を入れて活動しました。
古着回収ボックスは、様々な情報を調べているうちに、自分達のイメージに合っているものを見つけることができました。その写真を参考に、古着回収ボックスを作成しました。実際に作っていると、もっとこうした方がいいんじゃないかといった意見が数多く出ました。そのため、想定よりも多くの時間がかかりましたが、満足のいく出来になったと感じています。また、フジグラン宇部さんにお話を聞いて頂き、古着回収イベントのスペースを貸していただけることになりました。10月5日の10:00から17:00、フジグラン宇部さんの一階特設会場で、古着回収イベントを開催することになりました。
多くの人に見てもらえるように試行錯誤しながらイベントのチラシを作成しました。ぜひお越しください。



古着回収イベントのチラシ

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



野球好き、いや野球大好き～中学生のための交流会～ ～ SIGMA～

山口市立宮野中学校の野球部と交流会を行いました。初めて中学生の球児たちとの交流ということで、緊張しつつも期待に満ちた気持ちで練習に臨みました。顧問の先生は山口大学出身です。おもしろプロジェクトで、カンボジアの小中学校で運動会を開催した経験を持つ方です。そのため、野球の指導方法だけでなく、様々な視点からのアドバイスをいただきました。練習では、ノックやバッティング練習を通じて生徒たちと汗を流し、「パーフェクトノック」という練習メニューに取り組みました。一人でもエラーをすると最初からやり直すという厳しいルールがあり、技術向上だけでなく、チームとしての連携やサポートの重要性を痛感しました。仲間を応援し、励ます声が飛び交う中で、チーム全体が一つにまとまっていく様子は非常に感動的でした。次回の交流会では、さらに楽しく充実した時間を過ごし、互いに成長できる機会を作りたいと思っています。彼らを含め山口市の中学生との関係を深めながら、共に成長していければと感じております。



球児たちとのワンシーン

おたすけYU ～YOU おたすけ隊～

山口大学の周りの地図を掲載したパンフレットが完成し、ゴミの捨て方オリエンテーションの時に配布しました。オリエンテーションには、約100名の留学生が参加しており、前回の配布より多くの留学生にパンフレットを渡すことができました。手にとってしっかり読んでくれる人が多かったです。おそらく、市や学校からの配布資料とともに配ったため、それを読む流れで、読んでくれたのだと思います。また、テーブルごとに、プロジェクトメンバーがまわり、パンフレットの説明をしました。留学生たちが、イラストや、地図について褒めてくれました。中には、地図に記載してある、おすすめの飲食店に行ってみると言ってくれた人達もありました。反省点としては、パソコンでパンフレットを作る作業が1人の班員に任せっきりになっていることが挙げられます。この問題を改善するために、パソコンでのパンフレット作りから提出までの作業を教えてもらい、次回からは交代ですることになろうと思います。



パンフレット校正中！

Bamboo.01 ～takecreation～

9月は先月から検討していた竹の特性を活かして、圧縮力と張力のつり合いによって構造が安定するテンセグリティ構造を基本としたスツールを実際に制作するにあたって必要な材料の用意をメインに活動しました。圧縮材として活用する竹について、意匠的な視点から細い径の竹を必要としており、そのために適したものを徳山高専から譲り受けました。また、それとは別に竹林に足を運び、竹の切り出しと油抜きを行いました。竹は油分の多い植物なので、油抜きをすることで耐久性が向上し、竹表皮の汚れ落としやツヤ出しの効果が得られます。添付の写真は油抜き前後の竹の比較になります。今月は、実際のスツール制作までは取り掛からず、物品や材料の準備等がメインの進捗になりましたが、徳山高専(メンバーの出身校)との横のつながりによって活動の可能性が広がりました。また現在は、スツールの座面の検討をしているところです。10月は、今月揃えたものを用いて試作ができると理想です。



切り出した竹(上)と
油抜き後の竹(下)

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



今あるものを長く大切に。～MAISON YMGT～

長い準備期間を経てついに古着回収イベントを開催しました！結果は…写真の通り、驚くほどの古着が集まり大成功でした。
正直、チラシやSNSでの宣伝を頑張しつつも、「地域の皆さんから本当に古着を提供してもらえるかな…」と少し不安でした。でも、ありがたいことに多くの方々がプロジェクトに共感してくださり、予想以上の古着が集まったんです。本当にうれしく、貴重な経験になりました。このイベントが実現できたのも、自分たちだけの力ではなく、多くの方のサポートがあってこそ。特に、私たちの話に耳を傾け、快く場所を提供してくださったフジグラン宇部さんには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました！
次のステップは、地域の皆さんからお預かりした大切な古着を、必要とする方々に届ける準備です。いろいろと大変なこともあるかもしれませんが、メンバー一同、協力しながら最後までやり遂げたいと思います。



フジグラン宇部にて回収した古着（一部）

野球好き、いや野球大好き～中学生のための交流会～ ～ SIGMA～

10月27日（日）、山口高校野球グラウンドにて大内中野球クラブの皆さんとエキシビジョンマッチを行いました。参加者は16名の中学生とその保護者で、試合はたいへん盛り上がりました。試合の結果は4対5でSIGMAが敗れましたが、SIGMAチームも最後まで諦めず、声掛けをしながら全力で戦いました。この試合でSIGMAのチームの結束力をさらに深めることができました。
「大内中野球クラブ」は、部活動を地域移行してできたチームで、地域に根ざした活動をしておられます。地域移行の具体的な取り組みや、活動を通じた選手育成の考え方について、また選手たちとのコミュニケーションの取り方についてご指導をいただきました。来月には山口大学で交流会を開催します。今後も地域とのつながりを大切にし、交流を深めていけるよう努力していきます。



最高の笑顔で

防府農地再生プロジェクト～だおらーず～

9月に植えたサツマイモの苗や土地の管理を中心に活動しました。9月20日の小学生との作業で植えて以降、雑草が増加し続けていたため、防草シートを設置し、定期的な草抜きを行うことによってサツマイモに必要な栄養が行き渡るように管理しました。今後も、収穫できるようになるまできちんと管理を行っていきたいと思います。さらに10月にはプロジェクトに協力してくださるスポンサー企業やプロジェクト名が記載された看板を作ってください、地域の方にプロジェクトを広く知っていただく一つの手段として設置しました。土地の耕しに協力してくださった羽嶋松翠園さんやこの看板設置に協力してくださったひまわり工房さんなど現在8つの企業の協力を得ています。改めて、たくさんの方に支えていただけて成り立っているプロジェクトであることと感謝を忘れず、今後の活動をしっかりと行っていききたいと思います。



プロジェクト看板

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



農ある私たちはお野菜を見せびらかす～ 新長州ファイブ～

11/14に子ども食堂を実施し、カレーを提供して子供たちと交流しました。何気なく話していた小学生が2016年生まれという事実には驚愕しました。小学生の流行りを聞いたところ、「アニメや漫画、音楽、映画などの流行りは特になく皆それぞれが好きなものがある。皆が共通して熱中しているものは思いつかない。」と言われ時代の変化を感じました。自分が小学生だった頃と比べて、個性を重視する教育環境になっていると思いました。

偶然ですが、ちょうど子ども食堂を開催した日にパパイヤが完熟しました。本州の露地栽培ではパパイヤが完熟する事がないという話を聞いていたため信じられないです。今までは収穫後3日程度で腐敗していましたが、大学に放置していたところ5日程度かけてゆっくりと熟していききました。収穫したタイミングや、放置していた場所などのありとあらゆる条件の何がパパイヤを完熟に導いたのかとても気になります。フルーツとは程遠く甘い生のかぼちゃのような味で美味しくないという総評でした。



完熟パパイヤ

今あるものを長く大切に。～MAISON YMGT～

今月は前々から準備を重ねていた山口大学姫山祭にフリーマーケットの出展をしました。天候にも恵まれ、多くの方に足を運んでいただきました。そして、実際に商品を手に取り、購入していただくことができました。自分達の活動に興味を持ってくれた方も多く、この活動に至った経緯や活動の目的等を話す機会も多くありました。ご来店いただいた方はもちろん、この活動にご助力をいただいた全ての方、本当にありがとうございました！今回の活動を通して、多くの方に自分達の活動について伝えることができました。自分達の活動に興味を持ってくれる方やそうではない方もいました。活動について簡潔にわかりやすく伝えることの難しさを強く感じました。この経験を活かし、今後も情報発信を続けていきます。12月5日にはFMきらら「ススめ！工学部」にも出演します。活動の目標である「購買意識の改善」を達成できるよう尽力していきます。



姫山祭フリーマーケット

山口大学内の野良猫プロジェクト～山大にゃんこ大作戦 フェーズ2～

啓発ポスターの英語版を作り、掲示しました。留学生宛の餌付けに対する注意喚起のメールについて、メンバーや関係者の方々と一緒に考えながら準備ができ、課題の一つを少し前進させられたかと思います。また、メンバーや団体外の方々からの情報をもとに、ポスター掲示の範囲を広げています。それに伴い、学内の猫や我々の活動について知っていただき、また相談をさせていただく学部範囲が徐々に増えています。先日、活動中に、通りすがりに猫の写真を撮っている学生と出会いました。「当団体が管理しているので見かけても何かあげたりはしないようにお願いします。」とお伝えしたところ、「分かりました！」と笑顔で返してくださいました。話しかけるのは少し勇気のいることでしたが、こうやって地道に少しでも多くの人に知ってもらうよう努めていくことが大事だと感じました。案外ずっと受け入れてくれる人も多いことを忘れかける時もある中で、少しはっとさせられる機会でした。



英語版啓発ポスター

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



農ある私たちはお野菜を見せびらかす～ 新長州ファイブ～

宇部市ホームページ「野外焼却」の内容に則り野焼きをしました。この日は冬に珍しく風速が2m/s以下かつ、前日に雨が降ったこともあり危険な野焼きにもってこいの好条件だったため安全に種を燃やすことが出来ました。今回の野焼きの目的は落ちた種の駆除がメインであり、来年の雑草処理を楽にするための準備になります。燃やすだけではおもプロにならないので危険性の把握のために、周囲3mに枯草のない地面がむき出しの土地で少量ずつ様々な種類の植物を燃やす検証をしました。その結果、ヒマワリは茎外面の硬い組織が炭化して火種の役割になり、茎内部の綿組織が火種を着火させる火口の役割を果たしかなり危険になることが分かりました。簡単に炭化し、長時間燃え続けるうえに火が消えているように見えるので知らない間に畑が燃えているといった事態になりかねないです。その一方でヒマワリ以外の植物は長時間燃えることがないため、少量ずつ燃やす分には問題ないと判断しました。



野焼き

野球好き、いや野球大好き～中学生のための交流会～ ～ SIGMA～

令和6年度山口県学校部活動の地域連携・地域移行に係る研修会に参加し、部活動の地域移行に関する理解を深めることができました。特に、山口県が目指している部活動の姿について、具体的なビジョンや方針を知ることができました。地域の施設や人材を活用し、部活動が学校を超えて継続的かつ充実したものになると思いました。また、研修会を通じて、他のスポーツ指導者と意見交換をすることができ、各地域で抱える課題や成功事例を知ることができ、部活動の地域移行に対する理解が一層深まりました。他の指導者たちの経験や視点を聞くことで、自分自身の指導方法に新たな気づきが生まれ、今後の活動に活かせるアイデアを得ることができました。今回の研修を通じて、部活動が学校教育の一環としてだけでなく、地域社会と密接に関わり合うことの意義を再認識しました。我々SIGMAも「安心して野球ができる環境を山口に」という目標を達成するべく、精進していききたいと思います。



指導者研修会修了賞が
届きました！

今あるものを長く大切に。～MAISON YMGT～

12月5日にFMきらら「ススめ！工学部」に出演させていただきました。MAISON YMGTの活動内容をお話させていただきました。活動の目標やきっかけなど、様々なことを話させていただきました。より多くの人に自分たちの活動を知っていただき嬉しく思います。大変貴重な体験をありがとうございました。また、12月15日には、ときわ公園でのフリーマーケットに出店させていただきました。写真はその時のものです。あいにくの悪天候で正午までの出店になってしまいましたが、多くの方に来ていただきました。古着を手にとって見ていただき、自分たちの話も多くの方が聞いてくれました。沢山の方が自分たちの活動に興味を持ってくれて、応援の言葉を言ってくれました。活動の目標である「購買意識の改善」が少しずつでも達成に近づいているという実感が湧き、とても嬉しく思います。今後も、情報発信を欠かさず最後まで責任を持って活動が続けていきたいと思います。



ときわ公園
フリーマーケット

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



山口大学おもしろプロジェクト2024 2月



2025年1月までの活動報告書より

おたすけYU ～YOU おたすけ隊～

完成したパンフレットを留学生に配布しました。現在、パンフレットに対するフィードバックを集めており、今後の改善に活かす予定です。担当の先生からはパソコンを使って作成したことで、カラフルで濃い色合いが非常に良い効果を生んでいると褒められました。先生の評価を受けて、デザインに自信を持つことができました。

先月は締切に間に合わせるため、夜遅くまで作業をしており、非常に大変でした。毎日のように時間に追われながら作業をしていましたが、なんとか期限内に仕上げることができました。テスト期間と重なってしまうとさらに忙しくなっただろうと考え、前もって作業を終わらせることができて本当に良かったと思います。

現在集めているフィードバックを元にメンバーと振り返りをして、さらに完成度の高いパンフレットについて考えてみたいと思います。引き続き、良い成果を出せるよう努力していきます。



完成したパンフレット

山口大学内の野良猫Oプロジェクト～山大にゃんこ大作戦 フェーズ2～

昨年度、そして今年度より新たに管理を開始したエリアについて、これまでの数か月で様々な変化が見られました。キャンパス内には複数の猫スポット（餌付けにより猫が集まっているエリア）が形成されています。現在管理を行っているエリアのうち隣り合うものは、関係者と話し合い、糞尿被害の出やすい畑から遠いほうのエリアに統合をすすめる計画を立てました。ポスターや立て看板を使って活動周知を行いながら毎日掃除と給餌管理を行っていますが、餌付けをなくすことが難しいことと、2エリアの猫の縄張り争いが起きてしまったことでエリア統合はスムーズには進んでいません。しかし、何匹かはエリア移動と共生しつつある様子が見られ、給餌場所や排泄場所を畑から離していくことも少しずつですが進んでいます。まだ時間はかかるかと思いますが、猫の様子をよく見て調整しながら、またエサやりをしている方との連携を目指しながら、今後もエリア移動を進めていきたいと思っています。



立て看板を用いて活動を周知

今あるものを長く大切に。～MAISON YMGT～

今月は、有限会社川野商店様に古着回収の相談をさせていただきました。快くご協力いただき、心より感謝申し上げます。回収した古着が無駄になることのないよう、引き続き丁寧に準備を進めてまいります。なお、回収された古着は東南アジアへ輸出されるか、工業用ウエスとして再利用されるということです。また、今回の活動の一環として、お借りしていた備品を山口大学へ返却いたしました。どの備品も活動に欠かせないものであり、ご支援に深く感謝しております。さらに、宇部市役所の方と、本プロジェクトの収益の寄付についてお話しする機会をいただきました。私たちの活動に興味を持って話を聞いてくださり、誠にありがとうございました。また、この寄付がどのように活用されるのかについて詳しくご説明いただき、大変励みになりました。今月は、さまざまな準備に注力した月となりました。MAISON YMGTでの活動も終盤に差し掛かっておりますが、最後まで気を引き締め、全力で取り組んでまいります。



MAISON YMGT
のメンバー

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



Bamboo.01 ～takecreation～

先月に引き続き展示用什器製作に取り組みました。この什器の特徴は、金物も合成接着剤も使わず、すべて自然素材でできており、伝統技法である蕪束(かぶらづか)という接合法を応用していることです。圧縮材には山口県産の檜を使用しています。写真は、KDDI維新ホールにおいて展示に用いている様子です。12月も仕口の形状、それ以前の報告書においても仕口や接合部についての報告を行ってきました。おもしろプロジェクトの目的は竹の活用ですが、興味のままに製作してプロジェクトを進めてきたことにより結局は「接合の研究」のようになりました。一方でこれを言い換えるなら「自然素材と人をつなぐ研究」であるとプロジェクトを通して体感しています。12月、1月は竹を用いず木を用いて接合部の研究をしてきたわけですが、半年間の集大成として、竹を活用し、プロジェクト期間中に習得した接合技術を用いたツールを必ず完成させて最終報告書に載せたいです。



伝統技法「蕪束」で接合
(山口県産檜を使用)

地域に根ざしたイルミネーションをしよう！～ブラッシュアップ・ヤマグチ～

今月は主に今期の活動についての振り返りと今後の活動についての話し合いをしました。学内イルミネーションについては準備期間・点灯期間・撤去機関に分けて各期間ごとに良かった点、悪かった点を出し合い、今後の活動に活かせる振り返りを行うことが出来たと思います。一方でたくさんの意見を集約したうえで意思決定をすることの難しさを感じました。個人の意見を尊重しながら団体としての意見を集約するために重要になるのは伝える力であることを学びました。自分の考えていることも口に出さなければ伝わらないですし、伝える際も分かりやすく簡潔に伝える必要があります。まだまだ試行錯誤でうまくいかないことの方が多いですが、しっかりとした意思疎通を図っていくことを大切にしていきたいと思います。最後になりましたが今回のプロジェクトを通してたくさんの方と関わらせていただきました。イルミネーション点灯の瞬間、まず思ったのが皆さんへの感謝です。この場をお借りして感謝申し上げます。



学内イルミネーション
撤去作業

未来の農業プロジェクト～ひこぼしプロジェクト～

小松菜の収穫を行い、栽培プロセスのふりかえりをしました。自動水やり装置の撤去と、来年度の計画についてミーティングをしました。

来年度は、現状のプランターでの栽培活動を発展させ、実際に農地を借りてプロジェクトを実施する方向で検討を進めています。農地を活用することで、より本格的な農業実践の場を設け、持続可能な農業の実証実験や、新たな作物の試験栽培などにも取り組む予定です。

栽培活動に欠かせない水資源管理の自動化の試みとして、吉田キャンパスの蓮池の水量管理に関心を持っています。適切な水管理ができることは農地での活動にも活かせると思います。これらの取り組みを通じて、持続可能な農業と環境保全の両立を目指し、地域社会への貢献を果たしていきたいと考えています。



手作業で液肥を与える様子
(自動化が課題)

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**